

「人財」でお困りなら

株式会社
MI ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

題字制作：株式会社クワイムエヌシーデー

KANAKEI

かながわ経済新聞®

税務・会計・経営支援

会社成長の専門家
りんくグループ

042-730-7891
www.link-tax.com

ちょうどいい
0りんく

2019年 5月号 Vol.065

かながわ経済新聞 2019.5月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

【人財の活用⑤】

前回まで障がい者雇用についてお話ししてきましたが、今回から特に気になっている「ワークライフバランス」についてお話ししていきたいと思っております。この「ワークライフバランス」という言葉を、メディアや新卒の合同セミナーなどで数年前からよく聞くようになりました。ただこの言葉の本当の意味を知っている人はどのくらいいるのでしょうか？ 少し調べてみました。内閣府による情報は以下の通りです。少し長いですが、ぜひ目を通して見て下さい。

▽仕事生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

我が国の社会は、人々の働き方に関する意識や環境が社会経済構造の変化に必ずしも適応されず、仕事と生活が両立しにくい現実に直面している。誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭・地域、自己啓発等



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～

にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるように、今こそ、社会全体で仕事と生活の双方の調和の実現を希求していかなければならない。

仕事と生活の調和と経済成長は車の両輪であり、若者が経済的に自立し、性や年齢などに関わらずとも誰もが意欲と能力を発揮して労働市場に参加することは、我が国の活力と成長力を高め、ひいては、少子化の流れを変え、持続可能な社会の実現にも資することとなる。

そのような社会の実現に向けて、国民一人一人が積極的に取り組めるよう、ここに、仕事と生活の調和の必要性、目指すべき社会の姿を示し、新たな決意の下、官民一体となって取り組んでいくため、政労使の合意により本意章策定する。さて、次回では上記内容を掘り下げてみたいと思っています。
(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役／南西フォーラム委員長)